

子どもと教育・文化を守る

大阪府民会議ニュース

事務局 大阪教職員組合書記局内

TEL 06・6768・2330

FAX 06・6768・2239

発行 2011年1月28日

NO. 6

メールアドレス

daikyoso@
daikyoso.jp

教育全国署名

2月22日 府議会に提出へ

2011年度政府予算案において、少人数学級への改善へ1歩を踏み出し、初年度分として、小学校1年生の35人学級実施に必要な4000人の教職員定数を措置するため3000人の純増を含む2300人の定数改善の予算が計上されました。大阪府に対しては、国段階での改善と計画の進捗過程にあることをふまえ、2年生の35人学級の継続

と1年生の35人学級の大坂府予算を活用して、3年生以上に拡大することなどを求めることが重要になっています。

これまでに、市PTA協議会、単位PTAへの協力要請、地元選出国會議員、府議会教育常任委員への要請にもとりこんでいただきました。臨時国会には教育全国署名をさらに積み上げ、「新・教職員定数改善計画

(案)の前進、2月府議会に35人学級の拡大、教育費の父母負担軽減等をめざして署名提出を行います。

「ゆきとどいた教育をもとめる署名」 府議会提出集会

2月22日(火) 午後2時30分
国民会館(大手前)小ホール



署名へのご協力をいただいた諸団体・個人の皆様、ありがとうございました。残っている署名がありましたら、事務局の大教組書記局までお届けください。府向け署名は、22日(火)府議会提出ですので、21日(月)までに大教組必着でお願いします。なお、国向け署名は、2月23日に国会に提出しますので、2月15日(火)に大教組必着でお願いします。

「子どもと教育・文化を守る」

大阪府民会議

総会のご案内

2010年度の教育文化府民会議の総会を行ないます。例年は、3月下旬に実施していますが、今年はいっせい地方選挙の関係もあり、3月5日（土）に行ないます。橋下府政の下での競争と管理・選別の教育施策が子育て・教育環境を悪化させ、保護者や教育関係者の悩みや怒りを増大させています。

総会では、橋下知事が「競争することで学力や能力を伸ばすことができる」と競争をあおり、また競争による淘汰で、大幅な財政削減

と差別・選別の教育を推進しようとしている情勢、競争主義に影響を受けた考えが広がっている状況を踏まえ、「競争で真に学力・能力を伸ばすことができるのか、豊かな学力を培うとは」をテーマに講演をしていただき、その後、府内の子育て・教育団体、地域・子育てネットからの報告や取り組みの交流を行ないます。今後、ますます地域、草の根からの府民的な共同、各子育て教育団体、諸団体との共同が求められます。

今後の共同の取り組みへつなげていただくためにも

ぜひ、各団体、地域からご参加ください。

「子どもと教育・文化を守る 大阪府民会議・総会」

3月5日（土） 午後1時30分～4時30分
エル・おおさか南館 7階（734）

プログラム

* 講演会「競争で学力・能力は伸びるのか
—橋下府政の競争主義教育がもたらすもの（仮題）」
講師 久田 敏彦（大阪教育大学教授）

* 討論・交流
・教育現場（幼・小・中・高・私学）、保育、学童、
地域子育てネット、保護者など、各団体・分野からの報告と意見交流

参加費無料です。（後日、参加案内チラシを送ります。）



「21世紀を生きる子どもたちから

のメッセージ」普及版

を発行しました。

大阪教育文化センター

大阪教育文化センターで

は、第3回「大阪子ども調査」結果を分析した報告書を「21世紀を生きる子どもたちからのメッセージ」

(363ページ・三学出版)として2010年4月に出版しました。このほど、

多くの人に内容を知っていただきたく、45ページにまとめた普及版を完成

させました。



一冊350円ですので、懇

談会や学習会にご活用ください。

注文先

大阪教育文化センター

TEL

06・6768・5773

FAX

06・6768・2527

「第3回子ども調査」のテーマが持つ大きな意味

①「つながる力」を大切に

してきた教育活動がまちがっていなかったことを「テーマ」が裏付けました。

②これからの豊かな教育活

動と教育困難克服への道筋が浮き彫りになりました。

③「豊かな教育活動」を拒む要員は何か、統計上からもはっきり出てきました。

④保護者・教職員が「共同して子育て・教育活動を進める」太い絆が浮き彫りになりました。

⑤公教育を再建するには、「学校の役割」について深く語り合う必要性が浮き彫りになりました。

推薦のことは

今日の子ども・家庭・学校を否定的に描き出す表面的言説によって見えなくされている実像を鋭くえぐり出す画期的な調査報告です。

高垣忠一郎(立命館大学)

*大阪教育文化センターの

第7部会が1月24日(月)に開かれ、「西淀ネットの活動に学ぶ」というテーマで

西淀子育てネットの18年にもわたる取り組みが報告

されました。1993年に

結成されてから年1回の「子育てと教育を考えるつどい」を柱として、総会・

学習交流会を年3回など、多彩な取り組みの紹介や、西淀子育てネットの特徴と

継続の秘訣として、こだわ

る人間がいること、地域の様々な団体・個人が参加していること、若い人の参加

歌があること、などが語られました。詳しくは、西淀

ネットが作成したニュースの縮刷版(準備号・1号)60号

1993年8月、2009年6月)が大いに

参考になると思います。

堺・子どもと教育を

守る連絡会

(略称「子教連」)

「堺・子どもと教育を守る連絡会」(略称「子教連」)は、地域の民主団体や堺労連傘下の労働組合、堺教組と府高教・府障教・私学の各分会が参加し、教育要求実現のための共同組織として結成され、これまでマンモス校解消、各小学校にプール設置、少人数学級実現、高校増設、私学助成、公立学童保育の復活、堺市民の戦災・戦争体験の収録、給食をよくするとりくみ、「出前教育懇談会」のとりくみなどに積極的に取り組むとともに、「子どもと教育を守

る市民大集会」の成功を支えてきました。

「子どもの貧困」が大きな社会問題となった08年には、学習会やシンポジウムを開催し、09年には、「堺まちづくり白書」の教育分野を担当し、堺市長選で、4候補に「公開質問状」を送付しました。

ここ数年は、毎月第一または第二月曜日に定例(事務局)会議を開いています。6〜7名はほぼ毎回参加し、継続は大きな力になっています。子どもと教育をめぐる動きや情勢の学習をするとともに各団体・参加者の交流を大切にしています。しかし、一方で、これまでの構成団体である地域の民主団体や、私学・府立高校・府立支援学校の各分会等が

事実上、参加できなくなっているのが、悩みです。

今後①新婦人の支部・班小組等を単位とした学習会を組織し、新地域教育懇談会へと発展させるとともに、地域・市民との共同の新たな発展方向として、各団体へ積極的に講師として出て行く、「出前教育懇談会」を再生すること。②子教連が、諸団体の教育要求をまとめ

練り上げていく中心に発展していくこと。③市民大集會を年間の取り組みの終結点(最終集約の場)と位置づけ、それに向けて学習会や懇談会・シンポジウム等の企画を、実行委員会で作り上げていく方式をつくること。④実行委員会とブレ企画には、子教連構成団体の参加を積極的に促し

ながら、参加者の新たな層を広げていくこと。などが課題となっています。

北 俊明(堺教組)

編集後記

今年度の府内各地の教育子育て団体や個人の取り組みを交流し、来年度に向けての取り組み方針を議論し、確認し合う、教育文化府民会議の総会が3月5日(土)に開催されます。この間の取り組みの教訓として、民主団体のみならず、地域から保守層とも結びついた幅広い共同が攻撃に対して大きな成果を生み出していることが語られています。総会でそれらの教訓に学び、今後の取り組みにいかしていただくため、府内各地からご参加をお願いいたします。